

技術士 1 次試験に合格して



安齊 康利
(あんざい やすとし)

勤務先

東洋熱工業 株式会社

技術部設計課

〒060-0034 札幌市中央区北 4 条東 2 丁目 8 番 2 号

TEL 011-205-5311 FAX 011-205-5315

E-mail yanzai@tonets.co.jp

■ 専門：衛生工学部門

○自己紹介・業務経歴

東京都で生まれ父親の転勤で、埼玉県・北海道札幌市へと徐々に北上していき中学校から大学卒業までは道内で過ごしました。大学では微生物を用いた環境保全を行う研究室に在籍しておりましたが、縁があって建築設備業界という微生物とは畑の違う業界に就職することになりました。

社会人 1 年目は、東京でのスタートとなりました。現場監督としてスタジオやデータセンターなどの新築現場で施工管理業務の日々でしたが先輩社員や建築の監督・様々な職種の職人たちに「建築現場」を学びました。その中でも「段取り八分(はちぶ)」の重要さは身に染みて感じており常に先を見据えた仕事の取り組みができるよう心掛けております。

現場で 7 年間の経験を積んだ後、設計課配属となり東京で 3 年、北海道で 2 年目になります。

最近では、外国人観光客の増加による需要から新築ホテルの設計が業務の大半ですが、札幌冬季オリンピック時期に建てられたビルも老朽化が進んでおり市内建替え需要も増えてきているように感じます。

これからも様々な用途の建物に携われる事が楽しみであり、用途毎の特性を理解した空調設計ができるように技術力の向上に努めていきたいと考えています。

○受験の動機

いつかは受験しようと思いつつも「直接業務に必要ないし、他に業務上取らなくてはいけない資格があるし…」と自分に言い訳をして受験を先延ばし

していました。同窓会で旧友が技術士の資格を取得し、様々なコミュニティで活躍している事を知り一念発起し受験する事となりました。

○受験体験談

試験対策は 4 か月前から準備をはじめました。基礎科目・適性科目については、過去問や参考書も多数あったので高校時代の古い(ほとんど残っていない)知識を思い出しながら新たに学びながら大学受験に挑むような気持ちで始業前の 30 分を勉強の時間に充てました。

受験まで残り 1 か月となった頃に専門科目に着手をしましたが、ここからが大変でした。専門科目は、過去問があっても参考書が無く過去問の回答に対して「何故この回答なのか」を検証しながらの作業でした。

ひとえに衛生工学部門といえども建物の空調・衛生からごみ処理の知識まで幅が広い分野だと思いました。

今回の受験の反省点を踏まえ第二次試験は、より早期からの準備を進めていこうと思います。

○今後に向けて

今後は第二次試験の合格を目指し自己研鑽に努め技術士の一員として活躍できるよう努力していきたいと思っています。

最後になりましたが、このような貴重な機会を頂きました事を大変光栄に思っております。

この場を借りて感謝を申し上げます。